

# 令和7年度 第2回 土岐市総合計画審議会 議事録

## 1. 開催日時・場所

令和7年8月19日（火）午後1時30分から5時00分

土岐市役所2階 大会議室2A

## 2. 次第

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

(1)第七次土岐市総合計画実施計画素案について

4. その他

5. 閉会

## 3. 資料

【資料5】第七次土岐市総合計画実施計画素案

【資料6】事前に頂いたご意見と対応案（当日配布）

## 4. 出席者

（審議会委員）14名

菊地 裕幸

宮地 喜博

山口 文子

玉樹 智文

石黒 信彦

小川 大輔

加藤 大祐

藤本 志保

戸松 陽子

鈴木 美好

加藤 一郎

加藤 幸代

高橋 範光

小森 孝美

（敬称略）

（傍聴者）3名

## 5. 議事要旨

### I. 第七次土岐市総合計画について

第七次土岐市総合計画基本構想の基本目標 2、3、4 にかかる実施計画について審議した。以下の指摘事項があり、修正対応することについて承認された。

#### 基本方針 2

##### 2-1

- ・ 若者・女性の地元定着に向けた具体策を記載していただきたい。
- ・ 企業立地推進にアフターフォローの明記が必要である。  
→ 記載について検討する。
- ・ 若者・女性の地元定着に向けた具体策が不足している。  
→ 地元雇用促進などの記載を検討する。

##### 2-3

- ・ 公共交通を重点施策とするとあるがどのようにするのか。  
→ 次回以降の審議会重点施策を提示予定である。

##### 2-6

- ・ 博物館の入館者数目標が低すぎる。  
→ 事例を参考に設定したが、目標値を再検討する。

#### 基本方針 3

##### 3-1

- ・ 自治会役員の担い手減少の原因は高齢化などであり、負担によるものだけではない。防災対策など市がイニシアチブを取って進めるべきである。  
→ 実施計画の記載内容を検討する。

##### 3-2

- ・ 若者が結婚しない理由は様々ある。結婚への意識を高めることで出生率を高めるという記載は見直すべきである。  
→ 表現の変更を検討する。
- ・ 結婚支援については高齢者の孤独死防止の視点を盛り込むべきである。  
→ 表現の変更を検討する。
- ・ 若者の意見を反映する取組の記載がない。  
→ 記載について検討する。

#### 基本方針 4

##### 4-3

- ・ 駅前広場の利活用が不十分ではない。運用を変えるべきではないか。  
→ イベントなどでも利用できるよう利活用促進を図る。

##### 4-4

- ・ ハードに依存しない公園づくりをしてはどうか。  
→ 利用状況に応じた公園整備を検討する。

## その他

- ・ 重点施策は挑戦的な目標を設定してはどうか。横串で連携すると取り組めることがあるのではないかと。  
→ 目標について検討する。人口減少対策など部署横断の取組も進めている。

## I. 委員意見等

### 基本方針 2

#### 2-1

- ・ 地元雇用環境が改善されていない。  
→ 企業誘致は成功しているが、地元就職が少ない。PR 強化に取り組む。
- ・ 企業誘致後のフォローが不十分ではないか。  
→ 意見交換会を実施し要望に対応している。商工会議所と連携し取り組む。
- ・ 行政は計画を実行する力が不足している。専門人材の配置などが必要である。

#### 2-2

- ・ 有害鳥獣対策における持続可能な取組が必要である。
- ・ 学校給食の地産地消に無農薬農作物を導入していただきたい。

#### 2-3

- ・ 公共交通を市民サービスとして重視し、利用促進策や値下げを検討していただきたい。
- ・ バス料金の値上げ理由と決定プロセスはどうなっているのか。  
→ 地域公共交通活性化協議会で審議し、人件費や燃料費高騰に対応するために値上げを決定した。
- ・ バス料金が高く本数も少ない。こどもがイベントに行けない。  
→ 費用対効果を考慮し、今後の参考とする。
- ・ 公共交通の供給体制維持が困難な理由は何か。  
→ 働き方改革により運転手が不足していることや、コロナ禍で利用者が減ったことによる経営悪化が原因である。撤退路線を市民バスで代替しているが本数が限られている。
- ・ 新病院開設に伴う交通整備はどうなっているのか。  
→ 市民バスの肥田線・土岐南北線のダイヤ見直しや増便、令和 8 年 4 月からの AI デマンド交通の実証運行を予定している。
- ・ 病院跡地から新病院への交通手段は予定しているか。  
→ 駅から新病院へアクセスすることを考えている。意見は参考にする。

#### 2-4

- ・ 地域の魅力伝承や郷土愛育成の教育機会の拡充をしていただきたい。  
→ 地域の魅力伝承など、意見を参考に進めたい。

#### 2-5

- ・ 陶磁器産業の分業体制の課題に対する技術継承は有効であるのか。  
→ データバンクによる情報共有や技能継承は有効な施策であると認識している。

### 基本方針 3

#### 3-1

- ・ 結のまちづくりは活動場所が少ないのか、広報が不足しているのか。  
→ 高齢者中心の活動で場所に制約がある。施設とのマッチングをしている。
- ・ 転入者と住民の認識の違いはあるのか。  
→ 課題解決や協働の新たな方向性を見出す意図で記載している。
- ・ 協働まちづくりで職員育成とあるが意図は何か。  
→ 市民と連携し事業を行うことの研修を通して、まちづくりを担う職員を育成することを意図している。
- ・ 市民活動へのポイント制度導入と還元方法の多様化を検討してはどうか。

#### 3-4

- ・ 部活動の地域クラブ移行に伴う保護者の負担に懸念がある。  
→ 土岐市は保護者クラブから地域クラブへ移行している。教師の負担などを考慮しご理解いただきたい。

#### 3-5

- ・ 放課後教室の参加希望児童が増えている学校もあり、次年度以降の運営に課題がある。  
→ 担当課に伝達し対応を検討する。
- ・ 夏でも放課後教室で体育館を利用したいが、空調設置時期の見込みはどうか。  
→ 設置する学校や断熱の検討を進め、次年度以降に決めていく。

### 基本方針 4

#### 4-2

- ・ 道路冠水対策はどうなっているのか。  
→ キキクルなどの情報を活用し、職員が事前パトロールを実施している。
- ・ 蓋の開かない側溝清掃などを行政に対応していただきたい。  
→ 要望に応じて対応する。

#### 4-5

- ・ 管耐震化率の目標が低いのではないかと。  
→ 経営計画に基づき持続可能な数値を設定している。

### その他

- ・ 重点施策は挑戦的な目標を掲げて良いのではないかと。

## 6. 記録

### 1 開会

事務局	本審議会について、現時点で、委員 15 名中 14 名の出席があり、土岐市総合計画審議会規則第 4 条第 3 項により、本審議会は成立。
-----	--

### 2 会長あいさつ

会長	前回の審議会に続き、産業・観光・文化、学習・スポーツ・市民活動、都市基盤の目標について、ご議論いただく。総合計画は市の最上位計画であり今後の土岐市の 10 年間を左右する大変重要な計画である。委員には忌憚のない意見等いただき、よりよい総合計画にしたい。
----	--

### 3 議事

#### (1)第七次土岐市総合計画実施計画素案について

##### ア 基本方針 2 について

事務局	施策 2-1 商工業、2-2 農林業、2-3 公共交通について説明。
委員	施策 2-3 公共交通で、新病院開設にともない、交通の検討や実証実験をしているそうだが、開業時に間に合うのか。
事務局	新病院へは土岐市駅から肥田線を利用してアクセスいただくが、ダイヤの見直しや増便を予定している。あわせて駅からアクセスできる土岐南北線の延伸も考えている。来年 4 月には、駅から病院までのタクシーを使った AI デマンド交通の実証運行を予定している。
委員	公共交通について重点施策と位置づけを予定しているとのことだがどのようにするのか。
事務局	実施計画の施策分類のなかで、市として重点的に取り組む分野を次回以降の審議会にて提示する予定である。
委員	バス料金を値上げしたのはなぜか。むしろ値下げして多くの方に利用してもらう方がよいのではないか。値上げした経緯を教えてください。
事務局	バス料金は地域公共交通活性化協議会で審議して決定している。昨今の人件費の高騰、燃料費の高騰、資材の高騰などあり、収支のバランスを考慮し、公共交通を持続させるために値上げを決断した。
委員	多くの方が利用するのが市民サービスである。収支にかかわらず、市民がいかに便利な街であるかを実感してもらうことが必要である。どうしたら乗ってもらえるかを徹底に議論すべきである。
委員	バス料金は高く、本数も少ない。図書館などでイベントがあるが、こどもだけでそこに行く手段がなく、親が連れて行くことになる。バスを無料にしてはどうか。マイナンバーを利用すれば、利用者を特定してサービスを提供することができる。
事務局	イベント時の交通のことは承知しているが、実際に利用される人数なども踏ま

	え、今後の取組の参考とさせていただきます。
委員	現在の病院のエリアから新病院へのアクセスはどのように考えているのか。
事務局	駅までバスで行っていただき、駅から病院までのアクセスを確保したいと考えている。
委員	公共交通は市民からみると不満が多く、市民ニーズが高いと考えられるが、供給ができない原因はなにか。
委員	運転手は働き方改革により全国的に不足しており、土岐市も同様である。市内の交通事業者は、コロナ禍で利用者が減ったため経営が厳しくなり、赤字路線を維持できず、撤退が相次いだ。撤退した赤字路線を市民バスで代替しているが、本数が限られている状態である。
委員	施策 2-1 商工業の関係で、雇用関係の満足が高くない。求める雇用と環境がミスマッチしているとあるが、外からは、土岐市は企業誘致に取り組んでいるとみられているが、地元の雇用環境の改善につながらないという状況をどのように考えているか。
事務局	企業誘致そのものは成功していると考えている。一方で、市民が誘致企業に勤めていない。高校生への勧誘は行っているが就職先に選ばれない。都会に出たいという人もいると思われるが、原因の特定は難しい。企業誘致で良い企業が多数立地しているので、今後はより宣伝活動をしていきたい。
委員	土岐市は大きな企業を誘致できている。商工会議所が企業と話をした際に、市は誘致するまでは一生懸命だが、その後のフォローが十分でない聞いた。市内にホテル等の宿泊施設やアパート等住居の要望を聞くが、行政は何も対応できていない。人口減少対策にもつながるため、もっと宣伝を強化する必要がある。
事務局	市内の高校に対して商工会議所と連携して説明会を実施している。今後も連携しながら進めていきたい。アフターフォローとして、企業と意見交換は行っており、道路の白線の引き直しや構内道路の補修などは実施している。
会長	企業立地論では、いかに地元へ根付いてもらうか、そのためのアフターフォローをどうするかが重要な課題といわれている。誘致した企業が撤退してしまうと、地域経済に大きな影響を与えるため、アフターフォローやPRは重要である。施策 2-1 商工業の取組(2)の企業立地の推進にそのようなことを明記してはどうか。
事務局	記載することを検討する。
会長	基本目標 2 は、6 つある基本目標の中でも特に重要な目標である。これから 10 年 20 年後の土岐市を形作る上で、産業経済の基盤を整え、所得を得て賑わいを創出することで、若い人が土岐に移住するなど、様々な政策につながる。しかし、実施計画の素案の取組内容は抽象的である。課題として、若者や女性が働きたい場が必要とあるが、それに対応する取組みは、魅力ある企業の立地とあるだけである。企業誘致しても、地元の若い人や女性が働くとは限らない。今後を見据えて、いかに、地元で働くか、具体的な政策を記載するべきである。例えば、地元雇用の促進など、地元の若い人や女性を積極的に地域に根付かせる姿勢を示すべきではないか。

委員	行政は計画を作っても実行が伴わない。同じ部署で長期間勤務するなど、専門的な人材がほしい。多治見は、まちづくり DMO が実行部隊となり、独立採算で黒字化している。具体的に進めていかないと、重要な経済の問題も解決できない。
会長	審議会の意見を参考に計画の修正をお願いする。
委員	施策 2-2 農林業で有害鳥獣対策とあるが、単に対処するだけではなく、持続可能な方法を考えていただきたい。
事務局	環境の整備など動物との共存は必要であるが、市民の安全確保が第一である。
委員	取組(2)について、地域の農作物を学校給食で提供とあるが、無農薬でお願いしたい。
事務局	農業もスマート農業、有機栽培もあり、補助制度もある。意見は、今後の取組の参考とさせていただく。
委員	鳥獣保護区の近くに住んでおり電気柵など設置できないがどうすれば良いか。
事務局	鳥獣保護区は、オオタカなどの繁殖地として指定されている。希少野生動物の保護のため理解をいただきたい。対策については猟友会と連携して相談させていただきたい。
事務局	施策 2-4 地域資源・観光、2-5 陶磁器産業、2-6 歴史・文化について説明。
委員	施策 2-5 陶磁器産業について、分業の体制が難しく大きな課題であることに對し、その対策が技術継承する仕組みづくりとなっているが、それが有効な対策であるとの認識でよいか。
事務局	美濃焼は分業することで効率的な生産が可能になり、生産量日本一となった。近年絵付けや鋳込みを行う下請けが減ってきたことで、今までどおり美濃焼が作れなくなってきた。データバンクを作りこれまで分業で担ってきた部分を情報共有や技術継承できるようにすることは有効な対策であると考えている。
委員	2-6 歴史・文化について、指標の博物館の入館者数の最終目標が中間目標よりも減っている。これでは博物館を作ることが目標に見える。
事務局	入館者数目標の根拠は、三重県の博物館のデータを基にした。開館時は多数の入館者があるがその後減少しており、それを反映したため目標値が減少している。開館後 5 年間は入館者数を維持し、ソフト事業も開催しながら入館者数を増加させたい。
委員	この目標では、博物館を作らなくてもいいと思ってしまう。立地的に土岐市の中心地であり、ポテンシャルはある。5 万人、10 万人の目標を設定すべきである。めったにない機会であり、大きな夢を描くべきである。
事務局	再検討する。
会長	まちづくりとも関わるので文化振興課だけではなく、他の部局や団体と連携しながら進めていただきたい。
委員	施策 2-4 地域資源・観光で、付加価値の PR について良い事例があるので参考にさせていただきたい。また、2-6 歴史・文化で、こどもの作陶体験についてもできる限り学校で機会を設けていただきたい。

事務局	意見については、地域の魅力伝承、郷土愛を育むために有用と考えており参考にさせていただく。学校では、地域の窯焼きの講師を招くなどの取組をしており、今後も活用を広げていきたい。
-----	--

### イ 基本方針3について

事務局	施策3-1 協働まちづくり、3-2 地域共生社会、3-3 生涯学習、3-4 スポーツ振興について説明。
委員	施策3-1 協働まちづくりで、自治会役員の負担が大きいので担い手が減少しているとあるが実態は違うのではないかと。担い手が減少する主な原因は高齢化や、定年が延長され働きながら役員をやるのは難しいこと、また、自営業も後継者不足であり、自営業を引退できず自治会役員をやる余裕がなくなったためである。さらに、親の介護が必要などの原因もある。防災対策など自治会で取り組む必要があるが、市でイニシアチブをとって進めていただきたい。
事務局	実施計画の記載を再検討する。
委員	施策3-2 地域共生社会で、若者の結婚意識だけでなく、孤独死を防ぐ視点での取組など若者以外の世代に対する結婚支援があってもよいのではないかと。
会長	若者が結婚しない、子どもを産まない理由は様々ある。結婚への意識を高めることで出生率を高めるという記載は見直すべきではないかと。
事務局	結婚に限らず、若い頃からライフプランや将来を考える機会が必要という趣旨であり、今年度からセミナー等を開催している。
会長	そうであればそのように表現を変えていただきたい。
事務局	表現について検討する。
委員	施策3-1 協働まちづくりの取組(1)の4つめ、職員を育成しとあるが、具体的にどのようなことを想定しているのか。
事務局	若手中堅職員を対象に、市民と連携しながら事業を進めることを学ぶ研修を実施している。具体的には市民と一緒に事業を企画する心構えや、市民が事業に参加する重要性について学んでいる。
委員	青年会議所でも地域の課題に取り組む活動をしているので、市役所の方にも協力していただきたい。
委員	現状で、結のまちづくりの活動場所が少なく、活動が限定とあるが、場所が少ないのか、周知が足りていないのか。
事務局	現在は幼稚園、図書館、学校、市の管理施設での活動となっている。市が実施するイベントでもボランティアで参加していただいている。活動できる場所が限られており、市でサポーターと施設の活動のマッチングをしているが、サポーターの参加者は高齢の方が多く、活動内容が制約されている。
委員	参加することで得たポイントを図書カードに交換する仕組みであるが、ポイント制度をうまく活用すれば市民の動きも活性化する。活動したときだけでなく、地域のサロンや運動教室に参加することにポイントをつけたり、災害教室への参加にポ

	イントをつけることで、参加者も増えていく。ポイント還元も図書カードだけでなく、バスの運賃や、協賛いただいた店で使うなど、還元方法も検討できるのではないか。
委員	施策3-1 協働まちづくりの課題で、転入者など市外からの視点を取り入れる機会が必要とあるが、市民と転入者で大きな認識の違いがあるのか。
事務局	市の課題解決や新たな団体活動を模索するためにまちづくりラボや市民意識調査などで、新しく転入された方の声を取り入れたいとの思いで記載している。
会長	外の意見を取り入れる課題に対応した取組はあるか。
事務局	取組(1)の2つめが該当する。
会長	若者の意見を取り入れることに対応した取組はあるか。
事務局	取組に記載がないので検討する。
委員	施策3-4 スポーツ振興で、部活動が地域クラブに移行していることについて、部活動は様々なスポーツを経験するよい機会であったが、地域クラブは月謝がかかったり送迎が必要であったり親の負担が多くなった。また、学校行事やPTA 行事を地域クラブでは調整してもらえない。なぜ地域クラブに移行させるのか。
事務局	土岐市の地域クラブの多くは、地域や保護者の方が運営していたクラブが母体となっており、最近始まったわけではなく、平成の後半から部活動が地域クラブへ移っていった。全国的な傾向と異なりスムーズに進んでいると考えている。教員の勤務状況等から、地域クラブを部活に戻すことは考えていない。
事務局	施策3-5 学校教育について説明。
委員	PTA は嫌々やっている人が多いが、本当に市をよくしたいと思う人にやってもらうべきである。
委員	体育館に空調がないことから、放課後教室でも夏に体育館で遊ぶことができない。空調設置は何年度に設置を予定しているか。
事務局	体育館は断熱性が悪く、対策する必要があるが多額の費用がかかる。少子化による学校統合も今後考えられるため、どの学校に空調を設置する必要があるか慎重に検討し、かつスピーディに次年度以降に決めていきたい。
委員	放課後教室の現状で、1つの教室に多数の児童がいる状況である。教室を増やしたいが、空き教室が無いと聞いている。放課後教室の参加児童が増えている学校もあり、来年度の実施方法を検討いただきたい。
事務局	担当課に伝える。

#### ウ 基本方針4について

事務局	施策4-1 道路、4-2 治水、4-3 住環境・街並み、4-4 都市公園、4-5 上下水道について説明。
委員	施策4-2 治水について、現在は土岐川も改修され、過去に河川の増水で冠水の被害があった地域の被害が収まっている。しかし、線状降水帯などいつどこで大雨が発生するか予想できず、道路の冠水などの恐れがあるが、対策はどうなっているの

	か。
事務局	過去 20 年間で 3 度、時間雨量 50 ミリを超える雨があった。その際に土岐川の越水は無かったが、雨による河川の増水は、市内だけではなく川上の恵那から瑞浪までの雨もあり、キキクルなどの情報を活用している。道路排水対策としては、大雨が降る前に、過去に冠水した箇所を職員が回り、側溝などを確認し増水防止に努めている。
委員	道路排水について、以前は、各町内自治会が側溝の清掃をしていたが、現在は蓋がされており掃除ができないため、行政で対応していただきたい。
事務局	蓋付きで開かないところや町内で対応できないところは、要望をいただければ市で対応する。出水が多い場所、危険な場所はチェックし対応している。
委員	施策 4-4 都市公園で、ハードは作ると老朽化する。遊具が利用されずに老朽化していくものもある。遊具などが何もない公園をつくっている自治体もあり、ハードに依存しない公園づくりができると、防災面でも活用できると思う。ソフト面の整備を検討していただきたい。
事務局	公園の利用状況を踏まえながら、地域ごとに特色ある遊具の設置や、遊具を設けずに利用できる公園なども検討していきたい。
委員	施策 4-3 住環境・街並みについて、駅前広場が十分利用されていない。今後、どのように利用していくのか。運用など変えていく必要もあるのではないかと。
事務局	駅前広場は、バスの利用や自家用車の乗り入れ駐車場などの用途で利用されている。調整は必要だが、イベントでの利用は可能であり、駅前広場の利活用を進めたい。
委員	施策 4-5 上下水道について、水道管の耐震化率の目標値が 1% ずつしか上がらないが、このペースだと 100% 達成するために何十年とかかる。この程度しかできないのか。
事務局	全国平均と比べると、土岐市の耐震化率は高い方であり、上下水の経営戦略による適正な料金内で工事計画を作成し、計画に即した数値としている。
会長	基本目標 2、3、4 について、資料 6 の素案修正のとおり修正し、あわせて委員から指摘があった事項について修正するということよろしいか。
委員	異議なし。

## エ その他について

会長	全般について意見があればお願いしたい。
委員	重点施策を今後の審議会で議論することについて、目標を挑戦的なものにしていただきたい。目標値など 10 年で計画的にできるものになってしまっている。頑張る動機付けとなるよう、チャレンジ目標のような設定をしないと面白い取組ができないのではないかと。そこを検討していただきたい。 計画が総花的である。横串で連携すると取り組めることは多くある。防災と公園など、いろいろ連携できる施策はある。縦割りではうまく進まないことも見られる

	ため、検討を含め記載すべきである。
事務局	例えば、人口減少対策はあらゆる施策に関わっており、現在部署横断で取り組んでいる。その他の施策も含め、意見を参考にまとめたい。
委員	失敗から学ぶこと、失敗しないと進めないことはある。失敗することで成長する。土岐市を変える意味でもチャレンジ精神を持って進めていただきたい。
会長	以上で、予定している議事はすべて終了した。 委員から非常に貴重な、そして熱心な意見議論をいただき、有意義な時間だった。改めてお礼申し上げる。

#### 4 その他

事務局	貴重なご意見をいただき、お礼を申し上げます。意見をもとに修正案を示す。次第の4その他として、外部評価について説明する。
事務局	外部評価の説明

#### 5 閉会

事務局	次回は10月9日木曜日で会場は市役所2階大会議室2Aを予定している。以上で令和7年度第2回土岐総合計画審議会を終了する。
-----	--

以上